

黒潮圏セミナー/DCセミナー

トドを減らし、マグロを増やし、サンマを食べるための生態学

横浜国立大学・教授、黒潮圏総合科学専攻客員教授
松田裕之

- と き 2016年1月20日(水) 14:30~16:00
- ところ 高知大学朝倉キャンパス 総合研究棟2階会議室3
- 問合先 加藤元海 ☎088-844-8284 genkai@kochi-u.ac.jp
(黒潮圏事務室 ☎088-864-5786)

今、ウナギやマグロの乱獲が深刻で、新聞にも載っています。それから、水産資源全体が枯渇していると思われるかもしれません。高級魚の乱獲は確かに深刻ですが、すべての魚が枯渇しているわけではありません。サンマはしばらく生産調整をしていました。たくさんいるのに、獲りすぎると豊漁貧乏になって漁業者が損するのです。トドも毛皮や肉の需要のために乱獲され、かつては絶滅危惧種でしたが、今では回復に向かい、トドによる漁業被害のほらが深刻です。増えたトドを利用する経済や文化が継承されず、獲って減らすことが難しい状態です。これは、ほかの野生動物でも同じです。

持続可能に野生生物を利用する理論は、水産学で発展しました。それは順応的管理と呼ばれます。今回は、トド、クロマグロ、サンマを例に、保護すべきものを保護し、利用すべきものを利用するための水産資源管理の理論と実践を紹介します。

参加無料・事前申込み不要です！

共：黒潮圏総合科学専攻・黒潮圏科学部門
DCセミナー指定(博士)(文系・理系)・黒潮圏セミナー指定(修士)(文系・理系)